



## 年頭のご挨拶

旧年中は、施設ご入所者、ご利用者をはじめ、ご家族の皆様には、施設運営のご理解ご支援をいただき、こころから御礼と感謝を申し上げます。

世の中は、数年来、物価高騰が続き、施設経営におきましても、そのあおりを受け、各業者さんから値上げの話ばかりです。2025年の漢字は「熊」になりましたが、日本経済とともに超高齢化の日本社会はどうなっていくのか不安もありますが、鹿助荘・藤ヶ丘荘におきましては、そんななかでも歩みをとめることなく、今年も「はねうま」のごとく、ご入所者とともに職員がいきいきと活気ある施設であるようがんばってまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



施設長 横山 信也



## 鹿助荘

《もちつき》 12月12日に餅つき大会を行いました。皆様若い頃を思い出されるのか、いつも以上に活気のあるご様子で、100歳の方や看取りの方も餅をついてくださいました。また、餅を丸めてくださる方々も大変手際が良く、あっという間に綺麗な丸餅ができました。今後も、入所者様に楽しんでいただけるよう、季節の行事を行ってまいりたいと思います。



# 鹿助荘

## ～・～レクリエーション～・～

### 《 RUN 伴 》



RUN TOMO

11月1日、今年もRUN伴（ランとも。認知症の方や家族、支援者、一般の方が少しずつリレーをしながら1本のタスキをつなぎ、ゴールを目指す全国プロジェクト）に参加いたしました。鹿助荘は中継地点となり、入所者様と一緒に次の施設までタスキをつなぎました。



11月27日、藤ヶ丘荘で寿司行事を行いました。色とりどりの寿司が並び、入所者様のゆっくりと味わいながら、美味しそうにお寿司を召し上がっている様子が印象的でした。普段より食が進まれる方が多く、季節の行事として、食を通じた楽しみや交流を感じていただけた一日となり、職員一同とても心温まる行事となりました。



\*\* もちつき行事 \*\*



\*\* お正月の様子 \*\*



## ICT 機器の整備推進について

### ～福岡県介護 DX 支援事業費補助金を活用した取り組み～

当法人では、介護サービスの質の向上と職員の業務負担軽減を目的として、福岡県介護 DX 支援事業費補助金を活用し、ICT 環境の整備を段階的に進めています。

その取り組みの一環として、本年 1 月より介護記録ソフトを「ケアカルテ」へ入れ替え、本格運用を開始しました。現在は職員が新しい操作に慣れていく段階ではありますが、日々の業務の中で少しずつ活用が進んでいます。

ケアカルテは、パソコンやスマートフォンから介護記録を入力・確認できるシステムで、入所者様一人ひとりの状態やケア内容を職員間で共有しやすい点が特長です。記録や確認にかかる時間の効率化が期待され、今後さらに活用が進むことで、業務負担の軽減と、入所者様と向き合う時間の確保に繋がると考えています。

また、当法人ではインカム（ハナスト）の整備も完了しており、今後はケアカルテと組み合わせた活用を目指しています。ハナストは、介護記録や連絡、申し送りなどの間接業務を、AI と音声入力でサポートするアプリで、介護スタッフが介助中に「話す」だけで記録を行うことができます。これにより、手入力のために作業を中断する必要が減り、現場の流れを止めずに記録を残すことが可能となります。

さらに、ナースコール設備の入れ替えも並行して行っており、これまで別々だった見守り機器とナースコールの受信端末を、1 台のスマートフォンに集約することが可能となりました。職員が携帯する端末の台数が減り、現場での動きやすさと業務効率の向上につながっています。

今後は、職員への研修や運用方法の見直しを行いながら ICT の定着を図り、働きやすい職場環境づくりと、より安心・安全な介護サービスの提供を目指してまいります。



介護記録ソフト「ケアカルテ」の画面



インカム着用時



鹿助荘・藤ヶ丘荘合同の公式インスタグラムを開設しております。入所者様の日常のご様子や、季節の行事、レクリエーションなどを写真とともにお届けしていきます。施設の雰囲気や日々の取り組みを感じていただければ幸いです。左記 QR コードを読み込んで頂き、ぜひご覧ください。